

『望みは必ず実現する』 エペソ人への手紙1章15～19節 2015.10.4(主日礼拝説教より)

『信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。』 ヘブル人への手紙11章1節

エペソの町は、魔術、オカルト、占い…に溢れた町だったが、パウロは神の力により霊的に勝利し、人々を悪霊の支配から解放した。現代人も、心霊現象、オカルト、占い等の影響を受けている。目には見えないが、私たちが闇へと引きずりこむ悪の力と、同じく目には見えないが、あなたを愛し救い、守り導かれる神の愛がある。

◆聖書の神は『啓示の神』。目に見えないはずの方が、見える姿で現れ(クリスマス)、実際に地上を歩み、足跡と言葉を残し、正しい信仰と福音を届けた。『啓示』とは「覆いを外す」こと。罪ある人間は、栄光に輝く神を見ることは出来なかった。しかし神はその輝く栄光の覆いを外し、ただの布切れに包まれて家畜小屋に生まれ、裸にされ、鞭打たれ、十字架へ…。そこで私たちは神の愛を知った。その生々しく滴る血の跡も、復活後の空っぽの墓も、神が世に来られた歴史の事実！

◆信じろ！と何度言われても信じられないのも事実だが、信仰は「持つものではなく、与えられるもの」。信仰の父と言われたアブラハムでさえ、神の約束を信じきることは出来なかった。99歳と90歳の夫婦に、御使いは『主に不可能なことがあるのか(創世 18:14)』と教え諭し、信仰を与え、イサク(「笑う」の意)は誕生した！神は、サラの不信仰な冷笑を、喜びの笑いに変えられた。神の言葉は必ず現実となる！「わたしは、常にあなたと共にいる！必ず迎えに行く！」と言われた方が、世の救いを完成される。この神に信頼する者に失望はない(ローマ 5:5)！

◆不治の病を癒し、死んでいたラザロを甦られさせた救い主…この「命の神」を知ることこそ、人生の全ての苦難や悩みを解消する唯一の方法である。

◆聖霊様だけが、その神を知る知恵を与え、悪に打ち負かされない力を与え、なすべきことを教え、成し遂げる力をくださる！大切なことは唯一つ！聖霊様を知り、今の様々の苦しみを越えた驚くべき御国の栄光と救いを確信することである(1ペテロ 8:18)。